

◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆
NO. 28 2009. 4. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

皆さん、こんにちは。それぞれの新年度が始まり、ワクワク、ドキドキですね。暖かい日も多くなってきました。日焼け・花粉症対策も忘れずに、毎日楽しく過ごしましょう！

==== も く じ =====

1. 災害時の疑問 Q & A
2. 最新！アレルギー関連情報
3. 我が家のドタバタ日記（４）
4. 読者からの投稿
5. アレルギー大学のお知らせ
6. メールマガジンについてのお問合せなど

※歯科治療材料アレルギーについてのアンケートは終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。

=====

1. 災害時の疑問 Q & A

災害時の素朴な疑問に 湖西市災害ボランティア 前田 展雄さん にお答えいただきました。いざというときに迅速な対応ができるようにしたいですね。

今回の疑問

Q：何年以前の建物が危険？（法律が変わったのは何年？）

A：建築基準法は1950年に制定されて以来、一般住宅に対して大きく改正されたのは、

- 1981年・・・耐震性の強化（過去の地震災害を参考）
- 1999年・・・住宅の品質確保の促進に関する法律（住宅全体）
- 2000年・・・阪神・淡路大震災の被害から耐震性の強化

以上が大きな改正ですが、中でも1981年の改正が大きく、この前後で地震による被害の差が見られます。

添付したグラフを参照ください。1981年（昭和56年）を境に被害の差が見られます。

このグラフは理論値ではなく、阪神・淡路大震災の西宮市、鳥取県西部地震の鳥取市、芸予地震の呉市の被害実績から作られたものです。

好ましくは2000年の改正以後の建築された家で、より信頼性が高いようです。

最近の家は価格に関係なく、しっかりした建築会社が建てた家なら信頼できるでしょう。

今どき「地震に強い家」など、宣伝文句にならないほどです。

でも、注意していただきたいのは2点。

○どんな土地に建てるか・・・悪い地盤では強い家でも、ユレは大きい。

○建売住宅は買わない・・・手抜き材料、手抜き工事がわからない。（建築後なので）

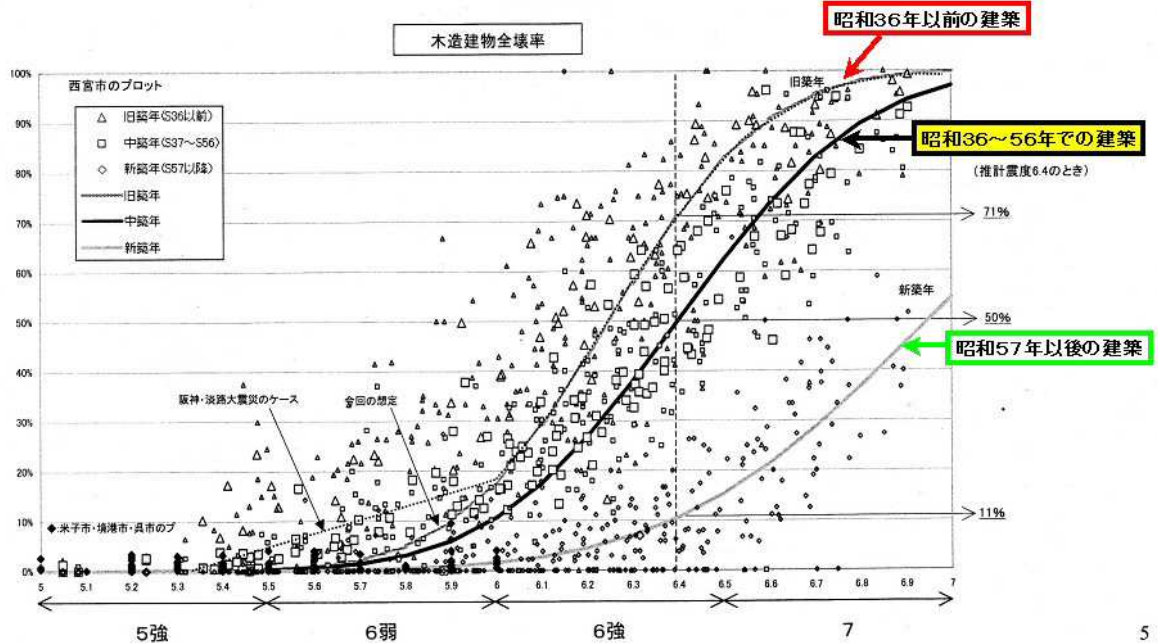
地震での死者の80%超は「家の倒壊による」であることを強く意識して下さい。

湖西市災害ボランティア 前田 展雄

○全壊率テーブル

木造：3区分

- ・ 建物が全壊するときの震度が正規分布に従うと仮定（全壊率テーブルに正規分布の累積確率密度関数を使用）。
- ・ 阪神・淡路大震災における西宮市、鳥取県西部地震における鳥取市、芸予地震における呉市のプロットデータをもとに設定。



内閣府（防災担当）作成資料より

次回の疑問は

Q：サイレンが鳴ったが、一体何のサイレンだかわからなかった
(放送もなく、何も知らされていないので、避難すべきかわからない)

です。お楽しみに☆

2. 我が家のドタバタ日記（４）

こんにちは

アレルギー支援ネットワークのスタッフをしています寺倉 里架.と申します。

我が家のアレルギードタバタ日記を掲載しています。

すこしでもアレルギー児のいる家庭の日常生活を理解していただけるといいなあ。

との思いで書きます。宜しくお願いいたします。

第４話 前回からの続き

カルテをみてビックリしたこと。

私のカルテにはなんと育児「〇〇〇ー〇」と書かれていました。。。

ということでお話しが続きになりましたが、育児「〇〇〇ー〇」こ〇の中に入る字わかりますか？

答えは、育児「ノイローゼ」と書かれていたのです。まあ、今となってはわからないわけではありませんが、なにかに取り憑かれたようにといいますか。(本人は必死で治そうとしてのことなのですが) 藁をもすがる気持ちが、どうも周りに人には、くっつかかっているようにみえたり、ヒステリックにしかみえなかったりとか・・・

そんな状態だったのでしょね。そして、月日がたった今、あの頃の自分を思い出すと、自分一人で思いつめていたことも原因の1つにあるように感じます。こんな状況の母親がいたら、困ったなあと思うかもしれませんが、落ちついて、話を聴いてあげてみてください。

聴くだけでいいですよ。

そして、同じような状況のあなた。つらい時、悲しい時はもちろんあります。そんな時、あなた一人ではありません。今はかなり食物アレルギーに関しての認知度は高く、周りにはあなたの声を聞いてくれる人がいますよ。泣いてもわめいてもかまわないから一人で思いつめないことですよ。なんくるないさあ～の気持ちでね。

次回の内容は

「このノイローゼを打破できた理由」です。

3. 読者からの投稿

カナダのアレルギー事情
～日本でもこうなるといいですね～

私は2年ほど前まで5年間カナダのトロントという街に住んでいました。初めての主人の海外赴任で上の子が4歳になったばかり、下の子は1歳からのスタートでした。緊張で身を固めた私たちを迎えてくれたのはカナダ人のおおらかさ。それは 学校・幼稚園の先生方も同じで、日本語しか喋れない私たちにも親切に接してくださいました。こうして私たち親子の学校生活の第一歩はカナダからでした。

そんなおおらかな雰囲気の中ですが、学校の生徒たちに特別徹底していることが一つだけありました。

それは「ピーナッツを絶対に持ってきてはダメ!」という事項でした。おやつを持ってきてもいいことになっている学校には、数ページにも及ぶおやつがリストが渡され、持ってきてもいいおやつが載っていました。

そのほか、朝ピーナッツを食べたら口を洗い洋服も着がえてくるなどの事項もありました。

びっくりしたことは 先生方のアレルギーに対する意識がとても高かったこと。

それぞれの子供のアレルギーを把握した上で 万が一アレルギーが発症した場合のやり取りの書面を学校に提出し、そこにはエピペン（アナフィラキシーを発症した場合すぐに使うと効果的な注射型の薬）はどこに携帯しているか、ということを書いたか絵や文ももっていました。

さらに先生方はすぐに処置できるように、訓練を受けているそうです。

ちなみにその書面の出所はトロントの教育委員会だったと思います。

カナダで生まれた3番目の娘はピーナッツアレルギーという洗礼を受けて生まれてきてしまいました。

しかしながら、カナダ人のピーナッツに対する知識は深くみんなで守ろうというルールが行き渡っていることは救いでした。

その娘が日本に戻ってきて幼稚園に入ったのですが、幼稚園の先生はアレルギーについての意識が高いとはとても言えなくて、いぜんピーナッツアレルギーで事故が起きているという話も聞き愕然としました。しかしながら、日本のその幼稚園だけが特別というわけではなく、学校給食ではピーナッツ和えなどが普通にメニューにもなっています。

おそばはなくなってきたと聞きますが。

この先この子も来年には小学生に上がるので、給食からピーナッツ（ナッツ全般）を排除してもらえないかと考えています。

学校の場合だけでも、アレルギーに対して緊張感をもってもらえたらアレルギーの子たちも理解されるでしょうし生きやすいのではないかと思います。

4. アレルギー大学のお知らせ

1) 第IV期アレルギー大学 会場変更と確定のお知らせ(2009.02.23)

三重県会場

基礎・初級講座

No.6 発達とアレルギー I

5月30日(土)午前 鈴鹿市文化会館 第二研修室に変更となりました。

No.7 発達とアレルギー I

5月30日(土)午後 鈴鹿市文化会館 調理室に確定しました。

基礎・初級調理実習

No.8、No.9 実習 I

5月31日(日)午前・午後 鈴鹿市文化会館 調理室に確定しました。

2) 第IV期アレルギー大学 講座中止のお知らせ(2009.02.23)

愛知県会場

研究・実践講座

No.57 研究・実践報告II(日程10月 講師 和泉秀彦 他)は、カリキュラム変更のため行いません。

アレルギー大学のお知らせ掲示板

<http://alle-sien.net/alle-dai/nik.cgi>

5. メールマガジンについてのお問合せなど

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、
asn-mailmagazin@alle-net.com(担当:園木)までお願いします。また、今後、
アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数です
が、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン
配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、
ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務
局担当(園木)sonoki@alle-net.comまでお尋ねください。なおメールマガジンの
メールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せ
ください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX: 0564-55-5702

▽E-mail: info@alle-net.com

☆◆-----◆☆